

【別紙】 令和5年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立 戸塚中 学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	自ら考えよく学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健やかな生徒
目指す学校像	落ち着きと潤いのある学び舎(創意にあふれる教育活動を展開し、保護者・地域に信頼される学校)

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	7名
事務局(教職員)	3名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 6 年 2 月 1 日 現 在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の経験年数が少なく、本校在職年数も少ない現状がある。 ・働き方改革と並行した、これまでの本校の取り組みの継承と教職員の育成。 	○教職員一人一人の職務能力の育成	○一人一役主担当とし、教頭と協力して育成する ○事前相談を通して、複数年継続して経験させ育成する	○教職員の学校評価「学校教育目標実現に向けて取り組んだ」95%以上達成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数の少ない教職員で効果のあがる教育活動を行うために、柱となる主任層を育成していく。 ・軽々年数の差を出さないためには、同一歩調で教育活動に取り組ませる。
		□リーダーの育成と組織力の向上	□委嘱研究の取組を通し、活動を増やし組織的に活動させる	□委嘱研究本発表に向けて、校内を組織的に活動させることができた。	A	
		◇保護者・地域から学校への信頼の回復	◇学校の取組を丁寧に説明する	◇保護者の学校評価「お子様に問題が起きた時、教員は適切に対応してくれる」94.4% ◇「職員は誠意を持って保護者に対応してくれる」97.2%	A	
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領全面实施に伴う、履修内容の完全実施と新たな評価法に基づく学ぶ意欲を高める教育活動への授業改善。 	○指導内容の系統性と内容の定着	○年間指導計画を作成し、保護者にシラバスを示す	○教職員学校評価「年間指導計画を見直し、授業の進捗を把握しながら授業を実施することができた」97.5%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・探求型の学習など、さらに学びの深まる学習形態への取り組みを実践させる。 ・他校教員の素晴らしい実践を学ばせ、新しい実践、工夫した実践に挑戦させる。
		□主体的で今日的な学習活動の実践	□話し合い活動や問題解決型の学習など主体性を生かした、対話的で深い学びを授業を推進する	□保護者の学校評価「教員は教え方を工夫している」92.3%	A	
		◇学習内容を定着させ、一人一人の学力の向上	◇確実な振り返りと適切な評価を実施する	◇生徒評価「先生方の授業はわかりやすい」92.5%	A	
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で活動は制限されるが、学校運営協議会を設置したコミュニティスクールとしての活動の充実。 	○学校運営協議会の定期的な開催	○年間の会議計画を立てる	○学校運営協議会・地区防災会議を計画どおり開催できた。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今日的な状況から、保護者メールや学校HPの更新をさらに進めていく。 ・役割分担を明確にして、定期的に情報提供できるようにする。
		□学校運営協議会の活動内容の充実	□コロナ禍ではあるが活動内容について活動の方向性を探る	□会議において意見をいただいている。学校評価などに協議会としての意見をいただいている。	B	

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和 6年 2月 15 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・「特になし」	
・	
・	
・「特になし」	
・	
・	
・「特になし」	
・	

		◇学校の情報を保護者・地域への積極的提供	◇学校ホームページ、保護者メールを積極的に活用する	◇保護者学校評価「学校は生徒たちの様子をよく知らせてくれる」85.1% ◇教職員学校評価「学校公開や保護者会等に保護者が参加しやすい」95.24%	B		
教職員の資質向上	・経年数級の二極化し、中堅層の教職員が不足している。 ・リーダー層を育成し、広い視野や先を見通した取り組みの実施。	○校内研修と自主研修の充実	○経年数に応じた市や県の研修を受講させる。校内の研修も充実させる	○委嘱研究本発表と関連させた要請訪問の実施や校内研修を実施することが出来た。 ○4割以上の教員を年間を通した研修に参加させた。	A	・決められた取組から新たな企画案が出せる研修を考案していく。 ・OJTの充実を推進していく。 ・働き方改革と併せ、全ての教職員が持ち味を發揮できる職場づくりを目指す。	・民間企業のような宿泊の新人研修など、集中した研修はないのか。
		□OJTの充実	□一人一役主となる校務分掌を経験させる	□教職員学校評価「校務分掌は担当で情報を共有し、事務作業の工夫・改善に努めた」86.05%	B		
		◇ベテラン教職員の豊かな経験の伝達	◇主任層には、管理職も含め、ベテラン教職員をペアで組み合わせる	◇教職員学校評価「学校の中に仕事について相談できる人はいますか」95.35%	A		
施設・設備等の管理	・経年劣化が激しく、修繕必要箇所が多く見られる。 ・時代の変化に合わせたICT関連機器の設置。	○計画的・随時の点検で修繕箇所の把握	○計画的な修繕計画の策定と教職員の分掌を活用した点検を徹底する	○管理棟1F多機能トイレの改修工事完了した。 ○定期・随時の点検を実施し、事故が無かった。	B	・計画的な改修・修繕の実施。 ・生徒用トイレの改修に向けての働きかけは毛継続していく。	・トイレ清掃について、200名程度参加可能なら、日本掃除の会に連絡する方法がある。相談して欲しい。 ・トイレの臭いについては、排水管の清掃で改善された事例があるので、検討してはどうか。
		□GIGAスクール構想に基づく授業実施に必要な機材の購入	□必要ICT関連機器の設置と管理を徹底する	□ギガPCの授業における積極的かつ効果的な活用に取り組めた。	B		
		◇	◇	◇			